生協通信
あっぷれす

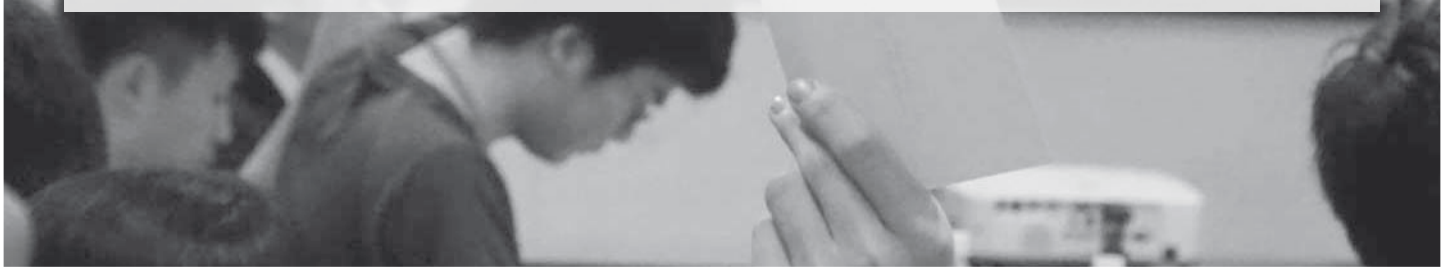
発行：弘前大学生協本部
〒036-8224　弘前市文京町１番地
Tel: 0172-34-4806 Fax: 0172-36-6965
2019 年 6 月 17 日 第 111 号

１ヶ月に１回発行。弘前大学生協の活動をお知らせいたします。
弘前大学生活協同組合のホームページは、「弘前大学生協」で検索！

Vol.111

第58回 通常総代会 開催報告

5月24日（金）に開催した第58回通常総代会についてご報告いたします。
総代定数154名　選出数153名　実出席67名　委任出席2名　書面出席58名　計127名
総代数153名の過半数が出席となる総代会は成立しました。



■議案内容
第一号議案　2018年度事業報告書及び決算関係書類等承認の件
第二号議案　2019年度事業活動方針及び事業予算案承認の件
第三号議案　監事監査規則の改定について
第四号議案　役員報酬限度額決定の件
第五号議案　議案議決効力発生の件

■議決
第一号議案　賛成125　反対1　保留1
第二号議案　賛成127
第三号議案　賛成126　反対1
第四号議案　賛成127
第五号議案　賛成126　反対1
全ての議案が賛成多数で可決承認されました。

2018年も2016年度以降続いている店舗利用者の減少に歯止めがかからず、前年比で約４万人の店舗利用者が減少しました。一方で供給高は予算達成は出来なかったものの、前年とほぼ同額を維持することが出来ました。これは教職員の研究活動に必要な機材等の利用に対応出来た結果です。

2019年度はたびshopの経営健全化の取り組みとして、効率的な店舗運営を実現することや、組合員活動としてきた内容「環境」「健康」「社会」の３つを組織活動課題とし重点的に取り組んでいきます。

食堂の混雑緩和から食堂のあり方について考えよう！

はじめに、混雑時の動画をみてもらい実際に空いている席はあることや、レジを済ませても座る場所がなくてトレーをもったまま立っている組合員の様子を見てもらい、班での意見交換をしてもらいました。多かった意見としては「ピーク時以外の時間に利用したらポイントまたは割引のサービスをする」「スコーラム利用の呼びかけ」「立ち食い席の設置」等でした。

出た意見は食堂へ伝え、実際に対策として動けるよう検討してもらいます。

自分たちが利用する店舗、どうすればみんながもっと気持ちよく利用できるかこれからも一緒に考えていきたいと思います。

5月23日開催

2018年度 第11回 理事会報告

議決事項

理事会の様子

第1～4号議案について、全会一致で可決承認されました。

第1号議案　正規職員の評価に基づく人事異動について

第2号議案　2019年度役員報酬決定の件について

第3号議案　職員の海外出張について

第4号議案　新築アパートへのガス設備投資について

審議事項

第5～6号議案については、提案のとおり進めることとしました。

第5号議案　2019年度の理事会小委員会活動について

第6号議案　来期の職員採用について

5月24日開催

2019年度 第1回 理事会報告

次回は6月27日（木）予定

第58回通常総代会にて、一部の役員の方が交代となりました。

議決事項

第1～2号議案について、全会一致で可決承認されました。

第1号議案　役員の互選について

〈理事会〉代表理事・理事長　：山田史生
・副理事長（常務理事）：石塚哉史
代表理事・専務理事　：小村　晃
常務理事　：一條健司、小野譲暉、齋藤貴浩、佐藤歩乃香、梨田郁生、見上颯太

第2号議案　2019年度役員報酬について

審議事項

第3号議案　小委員会の設置について

提案の通り進めることとしました。

2019年度　理事のみなさん

2019年度役員　＊太字が新役員

理事長	山田 史生	教育学部教員	理事	島田 透	教育学部教員	**理事**	**玉山 紫野**	**農学生命科学部2年**
専務理事	小村 晃	生協職員	理事	鈴木 愛理	教育学部教員	**理事**	**畑地 建**	**理工学部2年**
副理事長	石塚 哉史	農学生命科学部教員	理事	陳 暁帥	理工学研究科教員	理事	平野 拓哉	教育学部3年
常務理事	一條 健司	理工学研究科教員	理事	永瀬 範明	理工学研究科教員	**理事**	**松橋 那央**	**理工学部2年**
常務理事	小野 譲暉	理工学部3年	理事	本多 和茂	農学生命科学部教員	**理事**	**三浦茉結花**	**医学科3年**
常務理事	齋藤 貴浩	人文社会科学部3年	理事	正木 卓	農学生命科学部教員			
常務理事	佐藤歩乃香	理工学部3年	理事	森田 直文	学務部教務課職員	特定監事	加藤 恵吉	人文社会科学部教員
常務理事	**梨田 郁生**	**保健学研究科1年**	理事	遠藤 瑠花	人文社会科学部3年	**監事**	**石沢 颯希**	**人文社会科学部3年**
常務理事	**見上 颯太**	**理工学部3年**	理事	草薙 佐美	教育学部3年	監事	一戸裕佳子	人文社会科学部3年
理事	**一戸 千明**	**附属病院職員**	理事	嶋崎 史佳	教育学部3年	監事	太田 彩希	人文社会科学部3年
理事	**尾崎名津子**	**人文社会科学部教員**	**理事**	**関 匠**	**理工学部2年**	監事	金野 莉奈	人文社会科学部3年
理事	小枝 周平	保健学研究科教員	**理事**	**髙木 沙羅**	**保健学科3年**	監事	橋本美佐子	学務部学生課職員

詳しくは弘大生協ホームページ・理事会の議事録・発言録をご覧ください。

総代事前懇談会を開催しました。

アイスブレイク中！

開 催 日：5月16日（木）・17日（金）
開催場所：大学会館Scorum
参加人数（2日間合計）
総代75名・学生委員会16名・生協職員4名

「今年度の総代が顔を合わせ、会話・話し合いができるようになってもらう」こと、「総代・総代会について、その意味と魅力を知ってもらう」事を目的に総代事前懇談会を開催しました。

会では総代としての活動を考える時間を設け、「総代の役割」を紹介したり、「総代としてやってみたいこと」を考えました。

班で出た意見を発表する総代

「各都道府県の郷土料理紹介」「生協の人と直接話したい」などの声があり、これからの活動を楽しみにしている様子がみられました。

組合員活動の時間では、総代会の中で行われる話し合いを想定し、今回は「サリジェのセルフレジ導入」をテーマに班ごとで意見を出し合ってもらいました。議論を行うことで真剣に店舗のこと、生協の運営について考えました。生協は組合員が出資し運営、利用するお店です。気持ちよく、便利に利用できるように一緒に考えていきたいと思います。

生協学生委員会　理工学部3年　藤原涼雅

自分の殻を破る研修

～学びと体験・出発（たびだち）講座～

開催日時：4月20日（土）　15：00～17：30
開催場所：大学会館3階　大集会室

「自分らしさ」再発見をテーマに、卒業後社会にでる準備期間としての大学生活で、多くの様々な経験・体験を通してもらいたい、と昨年からスタートした新入生向け講座「学びと体験・出発（たびだち）講座」は今年で2年目となりました。今年度の活動をスタートする前に、まずはスタッフ・職員が「自分の殻を破る研修」として音楽座（株式会社ヒューマンデザイン）さんの研修を受けました。

座った状態で二人組みから始まったコミュニケーションが、いつの間にか立って、動いて、グループになって。最後にはみんなの前で発表していました。一連の流れの中に「自分から声を出すこと」「思いを伝えること」「相手の話に耳を傾けること」「表現すること」たくさんの仕掛けが入っていて、2時間半の間にたくさんのことを行いましたが、参加者の顔はみんな笑顔で楽しかった感満載。笑顔の充電をさせてもらいました。

学生も職員も同じ学ぶ立場。
一緒に楽しみました。

感情は移ります。コミュニケーションはまず自分から。つまづいてもそのあとに「また始めよう」を言えるように。これから講座スタッフとして、職員として、組合員の皆さんの大学生活をサポートできるように学んでいきたいと思います。

基本は自分たちで意見を出し合い進めるグループワーク。
進まなくなると、講師の方がサポートに入ってくれます。
これもスタッフ、職員には見習いたいところ。

学生総合共済からのお知らせ

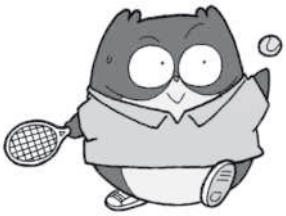
5月の給付状況

病気入院	3件
病気手術	1件
事故入院	1件
事故手術	1件
事故通院・固定具使用	5件
こころの早期対応	1件
父母扶養者死亡	1件
借家人賠償	5件
計	18件

給付金額
1,854,300円

たすけあいアンケートより

「たくさんのお金がかかったため、学生総合共済に加入していて良かったと思いました。」
（教育学部3年　スポーツ事故　バドミントンの練習中に左足半月板を損傷。　入院6日　通院23日　手術1回　給付金額156,000円）



勉学援助制度　寄付金報告

弘前大学生協では大学生協共済連で行っている「勉学援助制度」へ募金を行っています。2018年度は**688,420円**送金しました。これは店頭募金をはじめ、デポジット容器募金（生協オリジナル弁当容器返金分1個につき10円を専用BOXに入れる）、卒業生の出資金返還分からの寄付です。これからも皆さまからの暖かいご支援よろしくお願いいたします。

勉学援助制度とは扶養者を亡くし経済的に学業を続けることが困難になっている学生組合員を支援したいという気持ちからはじまった大学生協の制度です。大学生協が提案しご加入いただく学生総合共済ではカバーされない部分をきめ細かく補う、奨学・見舞制度ともいえます。
詳しくは「大学生協共済連」ホームページより。

職員異動のご挨拶

名前：上遠野　泰（かとおの　やすし）
高校・大学までの約20年を南東北（茨城・福島）で、卒業後の約20年を仙台（＋ちょっと福岡）で過ごしました。
時代は平成から『令和』へ、節目のこの5月に、さらに北上して家族4人で弘前に参りました。今年は、満開の桜に間に合いませんでしたが、新たな生活、数々の出会いと来年の桜に期待して、皆様方のお役に立てることを日々探りながら楽しく過ごしたいと思います。
どうぞよろしくお願いします。

編集後記

5月は異常に暑い日が続きましたが、おでかけに最適な日が増えてきました。よく生協のTwitterで青森のイベントやおでかけ情報も拡散しています。なぜなら学生の皆さんには街へ出て、たくさんの人やものに触れ、感じてほしいから。「無知の知」を知る、とまでは言わなくても興味のある分野ができそれを心置きなく学ぶことが出来るのは学生の特権だと思います。街へ出るのは、そのきかっけになりそうなことがたくさんあるから。学ぶことのサポートが必要なときはぜひ生協へ！こんな本、サービスありませんか？と聞いてみてください。
（SHIMO）